

# NACCS業務講習会資料 (平成28年度 保税事務講習)



輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社



## ● 輸出貨物業務（保税蔵置場）

- 貨物情報を基本とした輸出貨物処理【コンテナ貨物の場合】
- 貨物情報を基本とした輸出貨物処理【在来貨物の場合】
- 保税蔵置場 搬出入業務の流れ
- BIC：搬入確認登録（輸出未通関）【留意点】
- BID：搬入確認登録（輸出許可済）
- BIF：輸出貨物情報訂正
- 輸出貨物搬出業務
- BOC：搬出確認登録（輸出許可済）
- バンニング情報登録の種類
- VAN：バンニング情報登録（コンテナ単位）
- VAE：バンニング情報登録（輸出管理番号単位）
- VAD：バンニング情報訂正
- VAC：バンニング情報取消

## ● 輸入貨物業務（保税蔵置場）

- 貨物情報を基本とした輸入貨物処理【コンテナ貨物の場合】
- 貨物情報を基本とした輸入貨物処理【在来貨物の場合】
- BIA：搬入確認登録（保税運送貨物）
- BIA：搬入確認登録（保税運送貨物）【留意点】
- BOA：搬出確認登録（保税運送貨物）
- SAI：輸入貨物情報訂正
- SAI：輸入貨物情報訂正（留意事項）

## ● 共通業務について

- 保税蔵置場での主な搬出入業務一覧
- 保税蔵置場での取扱業務一覧
- 蔵置中の保税貨物を行う各種業務一覧
- 見本持出業務一覧

## ● 各種照会業務

- 貨物情報照会（ICG）
- コンテナ情報照会（ICN）
- その他情報照会業務

## ● 保税管理資料

- 保税管理資料

## ● 第6次NACCSに関するお知らせ

- 海上システムにおける航空貨物の取扱いの廃止（概要）
- 見直し対象となる現行の運用（航空輸出業務）
- 航空輸出業務を行う上での注意点
- 見直し対象となる現行の運用（航空輸入業務）
- その他の変更点

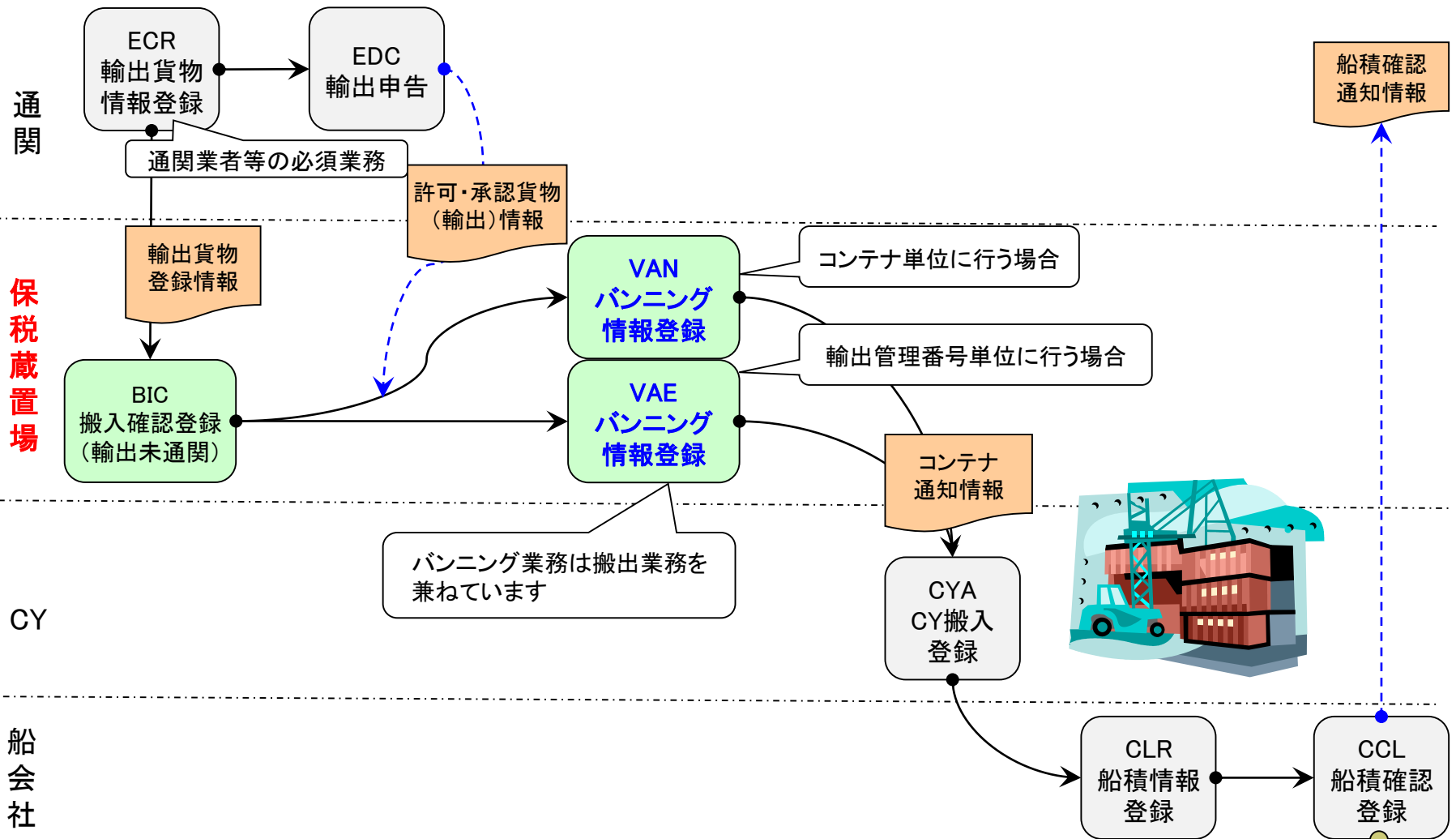
## ● NACCS掲示板の活用

- NACCS掲示板の活用
- NACCS掲示板の活用（業務別クイックメニュー）
- NACCS掲示板の活用（第6次NACCSに関する情報）

## ● NACCSセンターからのご案内

- オンラインリアルタイム口座の活用

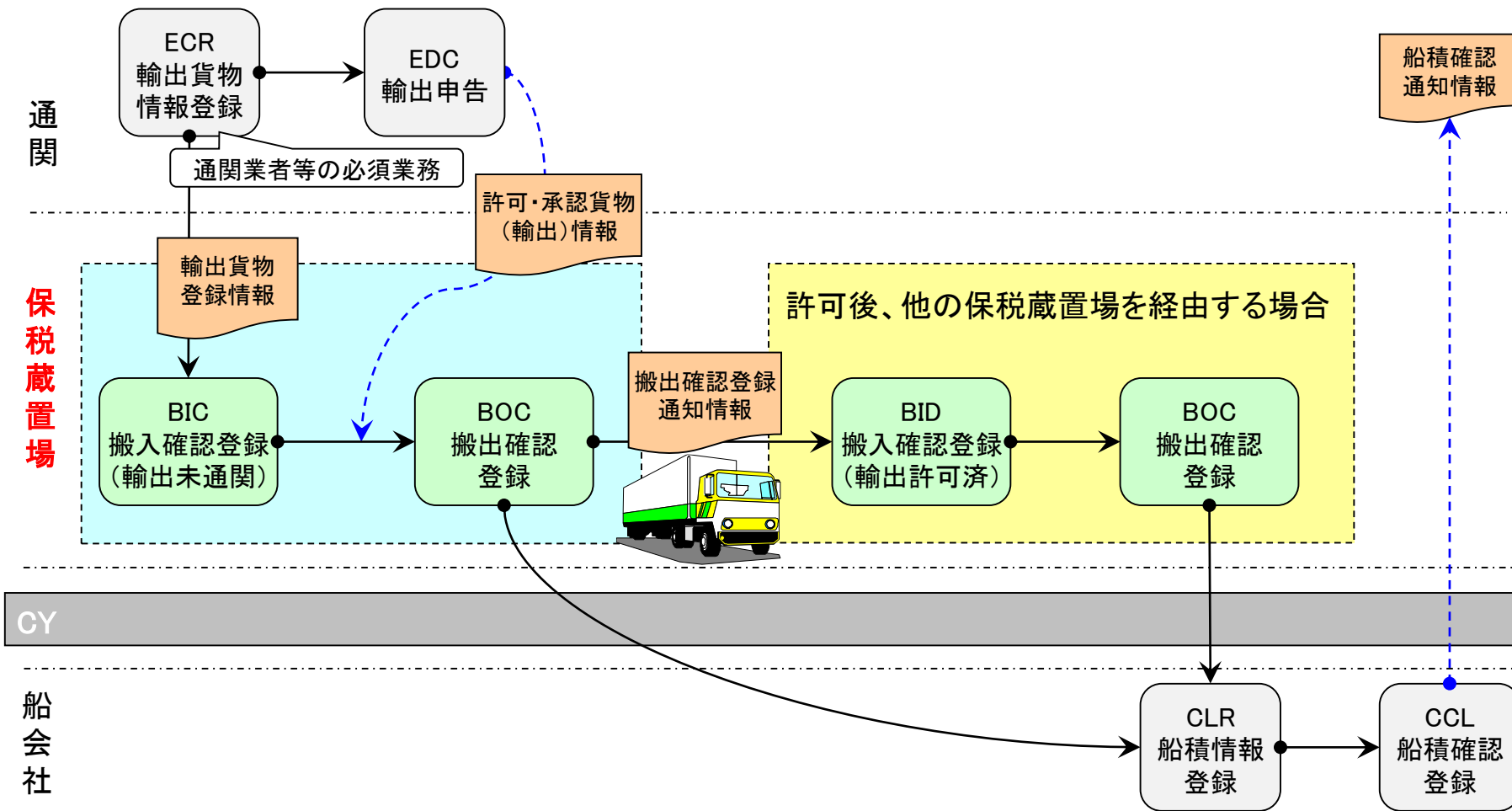
# 輸出貨物業務（保税蔵置場）



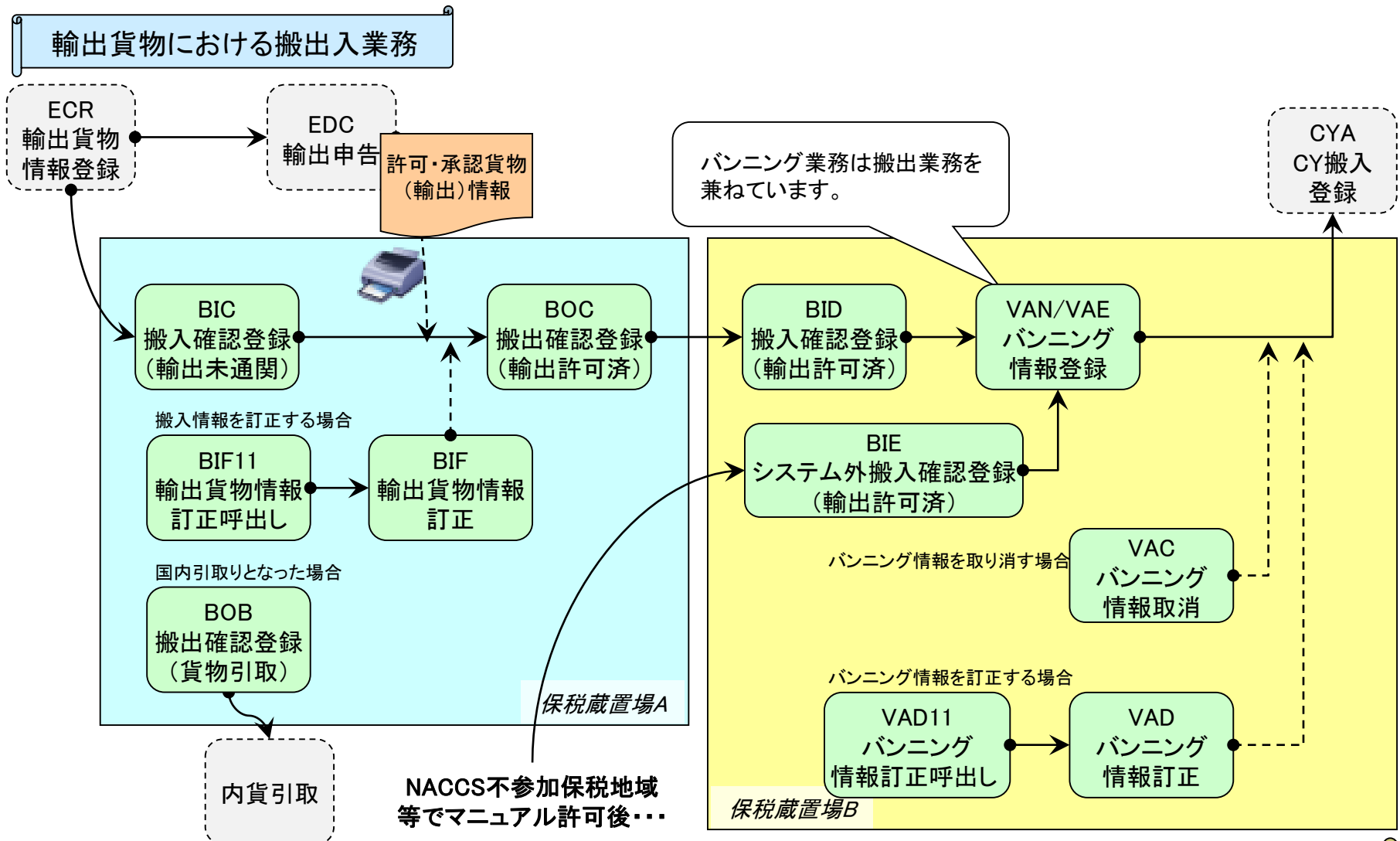
コンテナ貨物の場合、VAN/VAE(バンニング情報登録)業務は、輸出貨物とコンテナを関連付ける重要な業務であり、必須業務となります。

# 貨物情報を基本とした輸出貨物処理【在来貨物の場合】

～ Sea-NACCSは、輸出入貨物に関わる関係者の**全員参加を前提にしたシステム**であり、貨物情報はその関係者が共有利用します。～



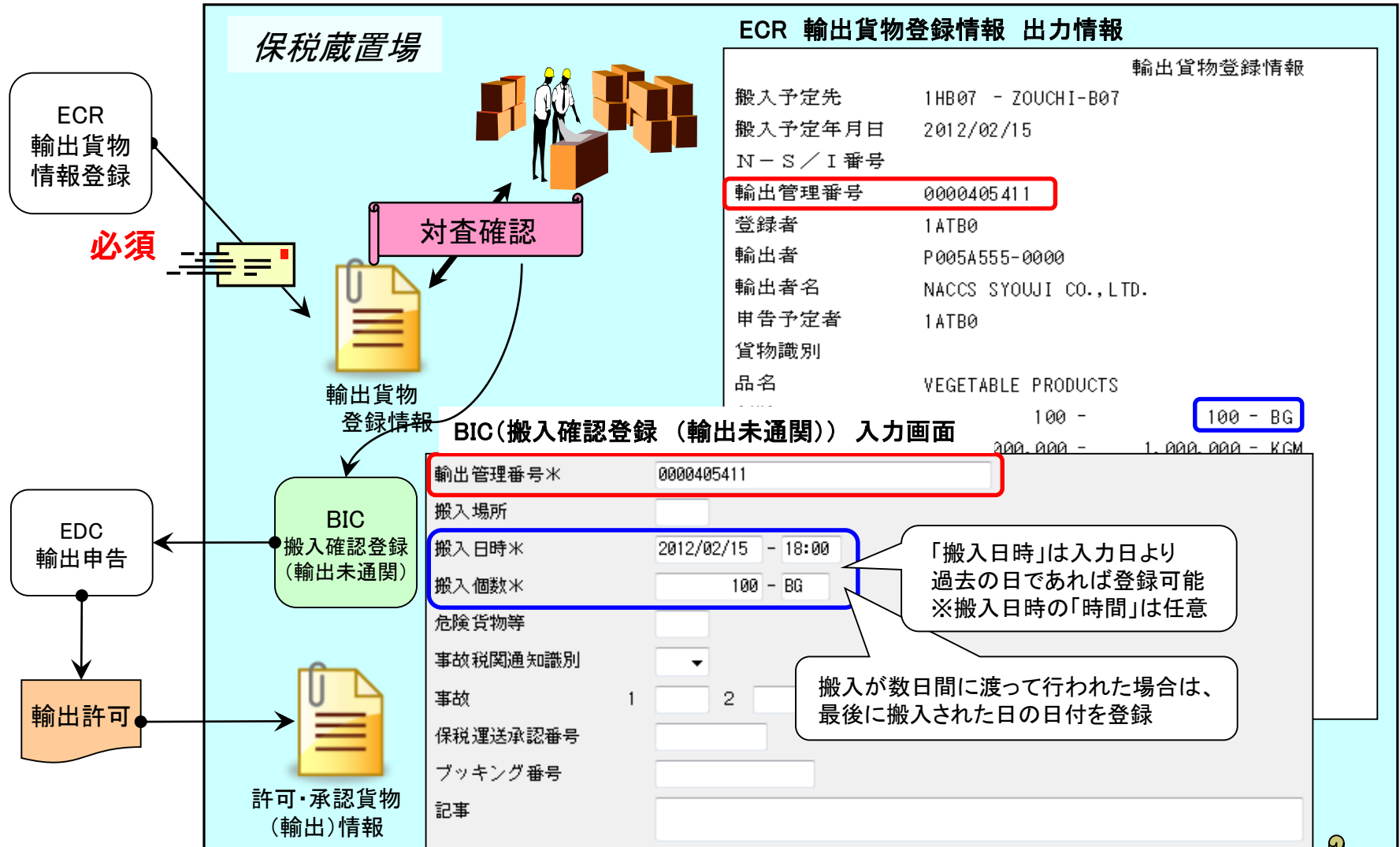
- ・貨物を輸出しようとする場合には、通関業者等によるECR(輸出貨物情報登録)業務が必須です。
- ・保税蔵置場は、貨物の搬入確認登録(BIC,BID等)、及び搬出確認登録(BOC等)を行います。
- ・輸出貨物の情報は、CCL(船積確認登録)業務で、システム上完結します。





通関・海貨

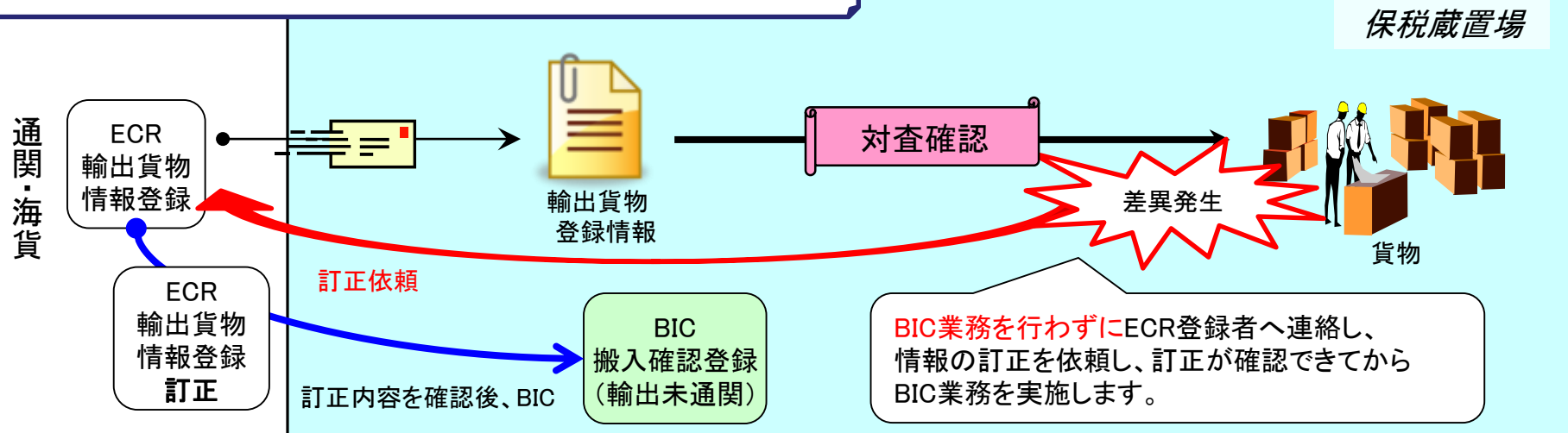
通関



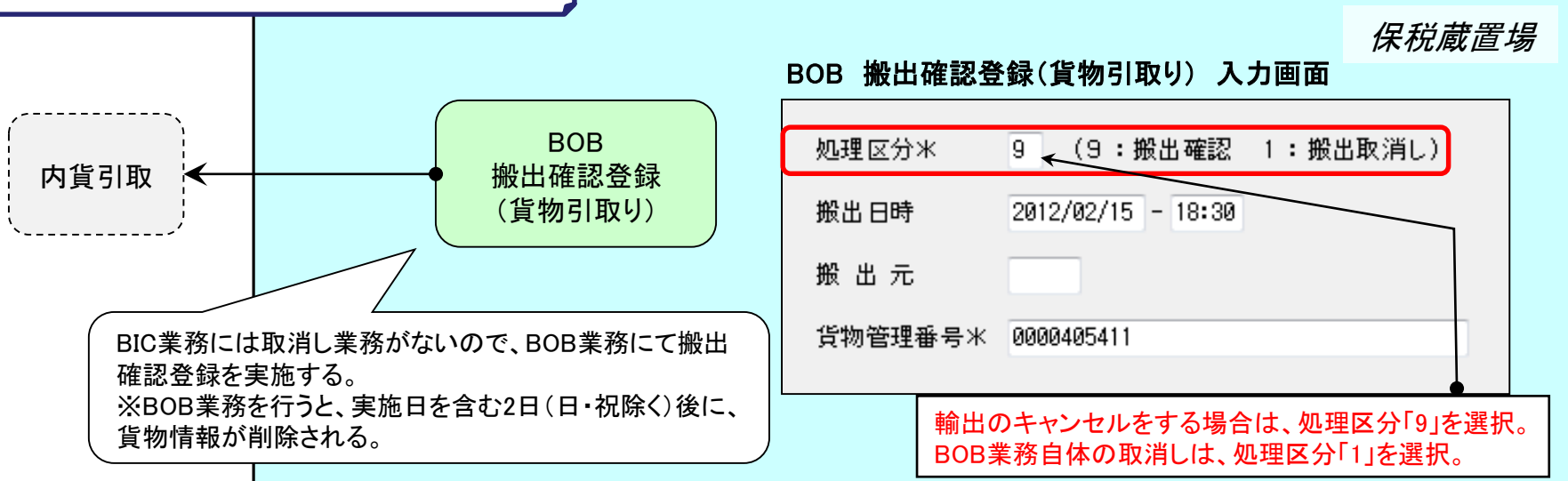
本業務の入力は、基本的に「輸出管理番号」、「搬入日時」、「搬入個数(単位)」の必須項目を入力するのみとなっています。

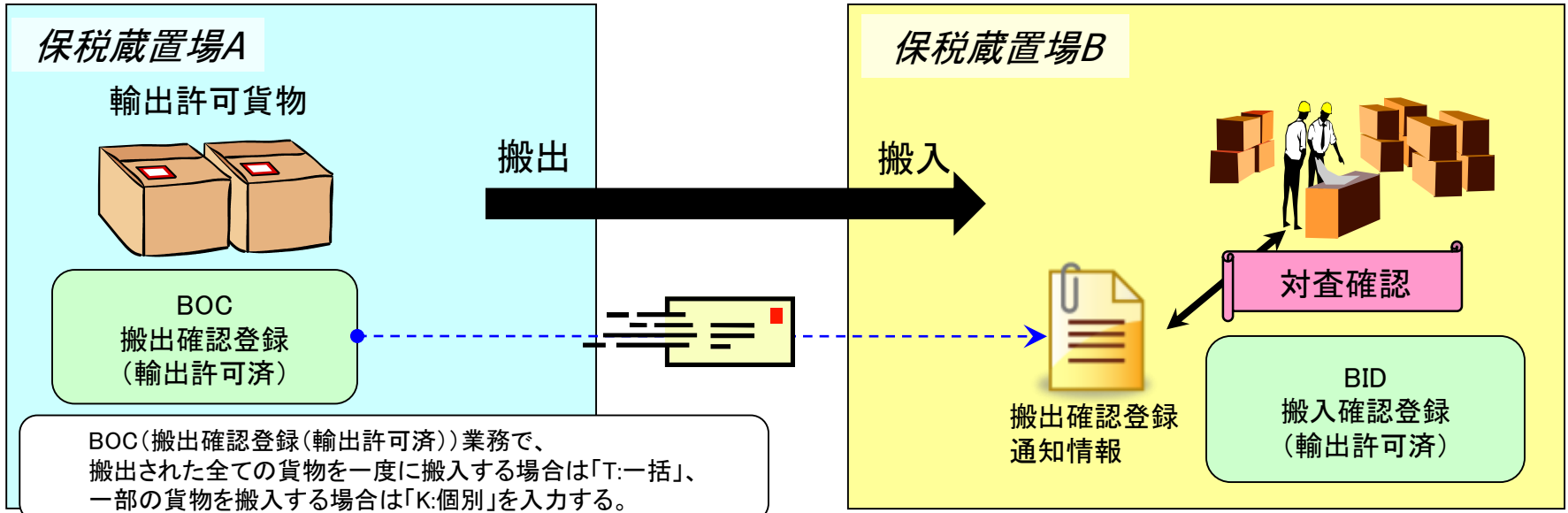
# BIC: 搬入確認登録(輸出未通関) 【留意点】

## ① ECR(輸出貨物登録情報)と搬入貨物の個数等が合致しなかった場合



## ② 搬入した貨物の輸出がキャンセルになった場合





## BID(搬入確認登録 (輸出許可済)) 入力画面

**「T:一括」の場合**

処理単位\* T (T:一括 K:個別)

搬出番号 107110010

搬入場所

搬入日時\* 2012/02/16 - 14:00

輸出管理番号 発送個数 到着個数 税関通知識別 事故コード

01

「T:一括」の場合は必須入力

**「K:個別」の場合**

処理単位\* K (T:一括 K:個別)

搬出番号 107110010

搬入場所

搬入日時\* 2012/02/16 - 14:00

輸出管理番号 発送個数 到着個数 税関通知識別 事故コード

01 0000405411 100

搬出元が、システム不参加蔵置場である場合には入力不要

搬入日時が輸出管理番号毎に異なる場合は、「K:個別」でBID業務を実施する。

「K:個別」の場合は必須入力。

搬出番号は、以下2通りの欄部に表示されます。

- ①ICG(貨物情報照会)業務の指定情報「TRN:搬出入情報」の許可承認番号欄
- ②BOC業務実施の際、出力される帳票「搬出確認登録通知情報」の左側最上部

貨物を搬入した(BIC業務)後に  
個数・重量・容積等の訂正があった場合！

## BIF(輸出貨物情報訂正)入力画面

輸出管理番号	0000405411						
訂正理由*	←						
蔵置場所	1HB07						
輸出者	P005A555-0000						
輸出者名							
申告予定者	1ATB0						
品名*	VEGETABLE PRODUCTS						
総個数*	100	- BG	総重量*	1000.000	- KGM	総容積	-
船会社	SAKA	積出港	JPTYO	出港日	2012/02/20	船卸港	USLAX
入港日	2012/02/15	積出港	JPTYO	出港日	2012/02/20	船卸港	USLAX
荷受形態*	51	形態	51				
社内整理番号							
記事							
最終仕向地*							
搬入日時	2012/02/15	- 18:00					
搬入個数*	100	搬入重量*	1000.000	搬入容積			
記号番号*	NACCS IN DIA						
入庫管理番号							

訂正理由	
1	個数・重量・容積の入力ミス
2	個数・重量・容積のカウントミス
3	税関に事故通知した貨物の訂正のため
4	品名に誤りがあるため
5	貨物の記号番号に誤りがあるため
6	その他の理由のため

## BIF11(輸出貨物情報訂正呼出し)入力画面

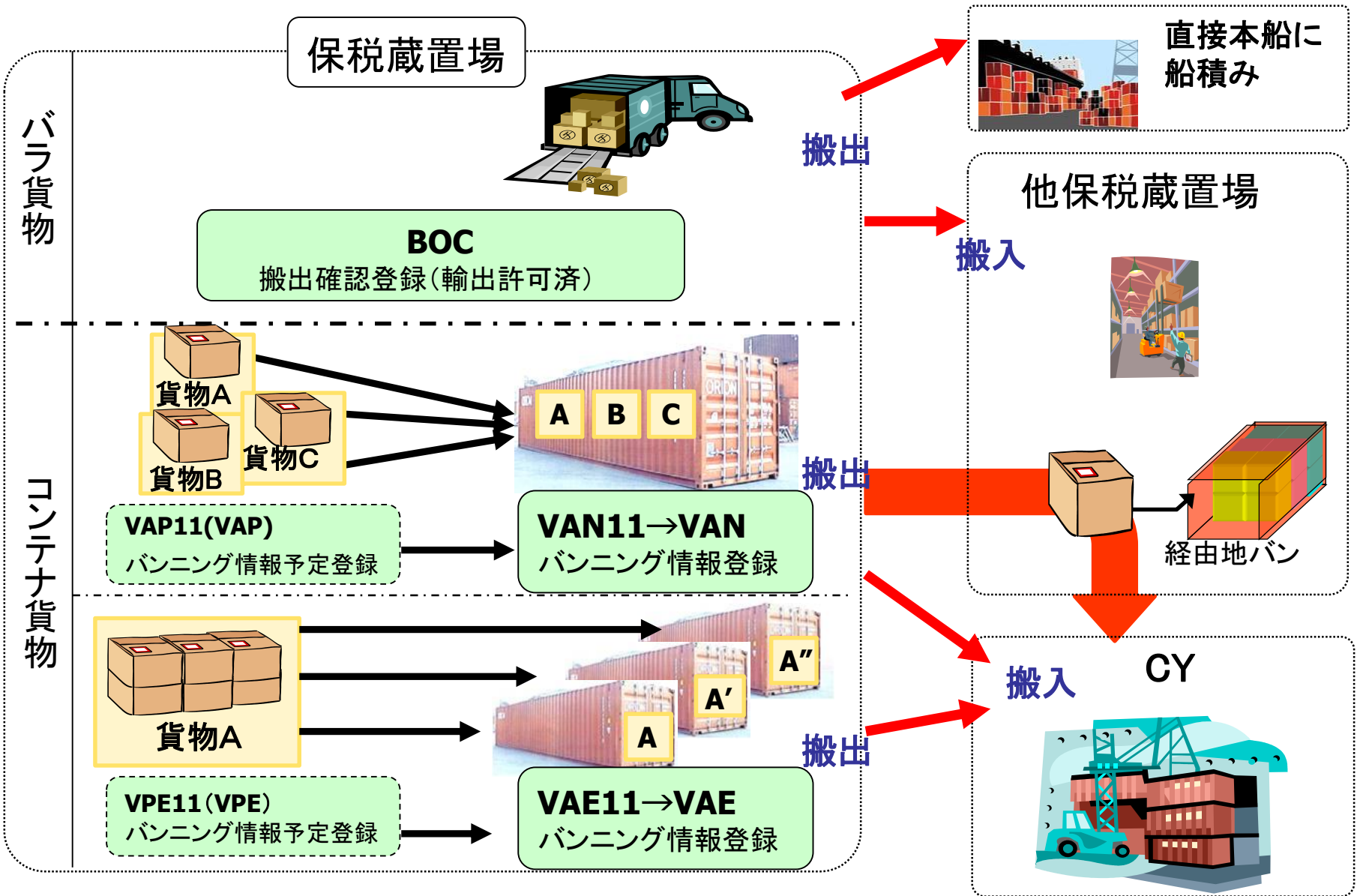
輸出管理番号*	0000405411
蔵置場所	

入力者が当該貨物が蔵置されている保税蔵置場であれば、入力の省略が可能です。

個数訂正の場合は、「総個数」だけでなく「搬入個数」も訂正が必要です。訂正忘れにご注意ください。

本業務を行う際、既に通関業者がEDA(輸出申告事項登録)業務を行っている場合は、通関業者へ輸出申告情報の変更をお願いする必要があります。また、輸出許可後である場合は、許可後訂正が必要となります。

- ・BIF11業務で貨物情報呼び出してから訂正した方が、入力においてミスを防げます。
- ・本業務は、貨物が当該蔵置場に「蔵置中」の時に、実施が可能です。
- ・本業務送信の結果、「訂正保留」となった場合は、税関に保留解除の依頼をする必要があります。



## BOC(搬出確認登録(輸出許可済)) 入力画面

処理区分*	9	(9: 搬出確認	1: 搬出取消し(一括)	3: 搬出取消し(個別))
搬出番号	<input type="text"/>	搬出日時	2012/02/16 - 14:00	
発送地	<input type="text"/>	搬入先	1HB00	
船会社	<input type="text"/>	通知先	<input type="text"/>	
運送会社等	<input type="text"/>			
輸出管理番号		発送個数	発送重量	発送容積
01	0000405411	100	1000.000	<input type="text"/>
02	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
03	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
04	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
05	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
06	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
07	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

BOC業務で、  
全ての貨物の搬出を、一度に取り消す場  
合は、処理区分「1:搬出取消し(一括)」、  
一部の貨物の搬出を取り消す場合は、  
「3:搬出取消し(個別)」を選択します。

- 『搬入先』は、貨物が次に搬入される**保税地域コード**を入力する。
- 搬出後、保税地域を経由せずに直接本船へ積む場合は『搬入先』に  
**船舶コード(コールサイン)**を入力し、『船会社』欄に**船会社コード**を入力する。  
(不明な場合は、『搬入先』と『船会社』の両方に『9999』を入力)
- 搬出後、航空貨物となる場合は、**航空保税地域コード(航空保税蔵置場)**を入力する。

本業務は、登録日より60日間(日・祝含む)取消可能ですが、次の保税蔵置場でBID(搬入確認登録)業務が行われた場合は取消できません。

バンニング情報登録には、以下の二通りがあります。

1本のコンテナに複数の輸出管理番号の貨物をバンニングする場合

コンテナ番号：TCKU1234567

貨物管理番号：



詰

0000616601



0000616701



0000616501



## VAN

バンニング情報登録  
(コンテナ単位)

1つの輸出管理番号の貨物を複数コンテナにバンニングする場合

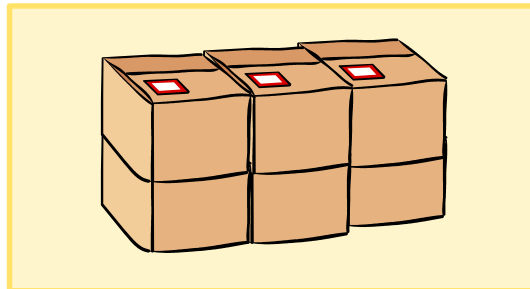
貨物管理番号：0001357901

コンテナ番号：

ACSN0000001

ACSN0000002

ACSN0000003



詰

詰

詰



## VAE

バンニング情報登録  
(輸出管理番号単位)

## 1本のコンテナに複数の輸出管理番号の貨物をバンニングする場合

### VAN11(バンニング情報登録呼出(コンテナ単位))入力画面

コンテナ番号 TCKU1234567 仮コンテナ番号

バンニング場所 1HB00

社内整理番号

輸出管理番号等

001	0000616601	002	0000616701
003	0000616501	004	<input type="text"/>

バンニング予定情報が登録されている場合は、仮コンテナ番号を入力することで情報を呼び出せます。

コンテナサイズコード

長さ×高さ	コード
20'×8'0"	20
20'×8'6"	22
20'×9'0"	24
20'×9'6"	25
40'×8'0"	40
40'×8'6"	42
40'×9'0"	44
40'×9'6"	45

※サイズの単位:フィート

コンテナタイプ

コンテナタイプ	コード
ドライ	GP
冷凍(※)	RT
オープントップ	UT
フラットラック	PF
タンクコンテナ	TN
その他	SN

※温度設定可能なコンテナ

### VAN(バンニング情報登録(コンテナ単位))入力画面

共通部 **繰返部**

搬入先コード\* 1CB07 経由地コード

積載予定船舶\* 9999 航海番号\* 100 船会社\* SAKA

積出港 JPTYO

搬出日時\* 2012/02/16 - : -

コンテナ番号\* TCKU1234567

コンテナ自重 2100 - KGM

シール番号 1 SEAL100 2  3

4  5  6

コンテナサイズ 22 コンテナタイプ GP

バンニング場所 -

シール番号欄は必須項目です。コンテナがフラットラックコンテナの場合は、「NIL」と入力する。

共通部 **繰返部**

001 輸出管理番号等 0000616601  
バンニング個数 100 - CT 重量 1000.000 - KGM 容積

002 輸出管理番号等 0000616701  
バンニング個数 2 - CS 重量 100.000 - KGM 容積

003 輸出管理番号等 0000616501  
バンニング個数 1 - CS 重量 50.000 - KGM 容積

1本のコンテナに輸出管理番号100件まで登録可能

- ・搬入先コードは必須入力。搬入先の保税地域コード、または直接本船に船積みする場合は、積載予定船舶コードを入力します。
- ・経由地バンニング時は、経由地コードを入力し、シール番号は入力できません。



## 1つの輸出管理番号の貨物を複数コンテナにバンニングする場合

### VAE11(バンニング情報登録 (輸出管理番号単位)呼出)入力画面

輸出管理番号等 0001357901

バンニング場所

社内整理番号

バンニング予定情報呼出し識別

コンテナ番号

01 ACSN0000001    02 ACSN0000002    03 ACSN0000003

04     05     06

バンニング予定情報が登録されている場合は、当該識別「1」を選択することで情報を呼び出せます。

#### コンテナサイズコード

長さ×高さ	コード
20'×8'0"	20
20'×8'6"	22
20'×9'0"	24
20'×9'6"	25
40'×8'0"	40
40'×8'6"	42
40'×9'0"	44
40'×9'6"	45

※サイズの単位:フィート

コンテナタイプ	コード
ドライ	GP
冷凍(※)	RT
オープントップ	UT
フラットラック	PF
タンクコンテナ	TN
その他	SN

※温度設定可能なコンテナ

### VAE(バンニング情報登録 (輸出管理番号単位))入力画面

**共通部** 繰返部

搬入先コード\* 1CB04

積載予定船舶\* 9999    航海番号\* 100    船会社\* SAKA

積出港 JPTYO

搬出日時\* 2012/02/16 - \_:\_

輸出管理番号等\* 0001357901

バンニング場所  -

ブッキング番号(貨物単位)\* BOOKING200

**共通部** **繰返部**

1 / 3

01 コンテナ番号 ACSN0000001

コンテナ自重 2100 - KGM

シール番号 1 SEAL01    2     3

4     5     6

コンテナサイズ 22    コンテナタイプ GP

バンニング個数 16 - CS    重量 900.000 - KGM    容積

02 コンテナ番号 ACSN0000002

・本業務一回につき、30本までバンニング登録することができます。  
30本を超過する場合は、再度、同様の手順で本業務を行って下さい。

## VAD11(バンニング情報訂正呼出し) 入力画面

処理区分\*  (5:コンテナ情報の訂正  
4:貨物情報の訂正  
3:バンニング個数、重量、容積の訂正)  
 輸出管理番号等   
 コンテナ番号   
 バンニング場所

複数コンテナにバンニング登録した場合、訂正  
 したいコンテナ番号を入力する。  
 ※貨物情報や個数等の訂正する際は、任意で  
 1本のコンテナ番号を入力する。

残個数が無いときは、残個数「0(ゼロ)」と入力し、  
 重量と容積はblankとする。  
 残個数があるときは、残個数、重量、容積を入力  
 する。  
 ※こちらの項目についてのみ、CY搬入後でも訂  
 正が可能。

## VAD(バンニング情報訂正)入力画面

処理区分\*  (5:コンテナ情報の訂正 4:貨物情報の訂正 3:バンニング個数、重量、容積の訂正)  
 輸出管理番号等   
 コンテナ番号   
 バンニング場所   
 積出港  区分5:コンテナ情報  
 コンテナ自重  -   
 シール番号  
 1  2  3   
 4  5  6   
 コンテナサイズ  コンテナタイプ   
 ブッキング番号 (コンテナ)  
  
 ブッキング番号 (貨物)  
 区分4:貨物情報  
 バンニング個数  重量  容積  -   
 残個数  重量  容積  区分3:バンニング  
個数、重量、容積

- ・VAD11業務で登録情報を呼び出し、本業務で必要箇所を上書き訂正します。
- ・CLR(船積情報登録)業務後は、本業務は出来ません。

## VAC(バンニング情報取消) 入力画面

コンテナ番号 TSCU123456  
 輸出管理番号等   
 バンニング場所  -

コンテナ番号   
 輸出管理番号等 0000406551  
 バンニング場所  -

コンテナ番号 TSCU123456  
 輸出管理番号等 0000406551  
 バンニング場所  -

### 【バンニング情報取消の入力パターン】

	コンテナ番号単位の一括取消し※	輸出管理番号単位の一括取消し※	輸出管理番号等の取消し	コンテナ番号の取消し
1 コンテナ番号	○	×	○	○
2 輸出管理番号等	×	○	○	○
3 バンニング場所コード	△(入力者蔵置場は省略可)	△(入力者蔵置場は省略可)	△(入力者蔵置場は省略可)	△(入力者蔵置場は省略可)
4 バンニング場所地域名	△(3で登録無い場合は必須)	△(3で登録無い場合は必須)	△(3で登録無い場合は必須)	△(3で登録無い場合は必須)

※輸出管理番号とコンテナ番号とが1対1の時は、輸出管理番号とコンテナ番号のどちらかを入力する。

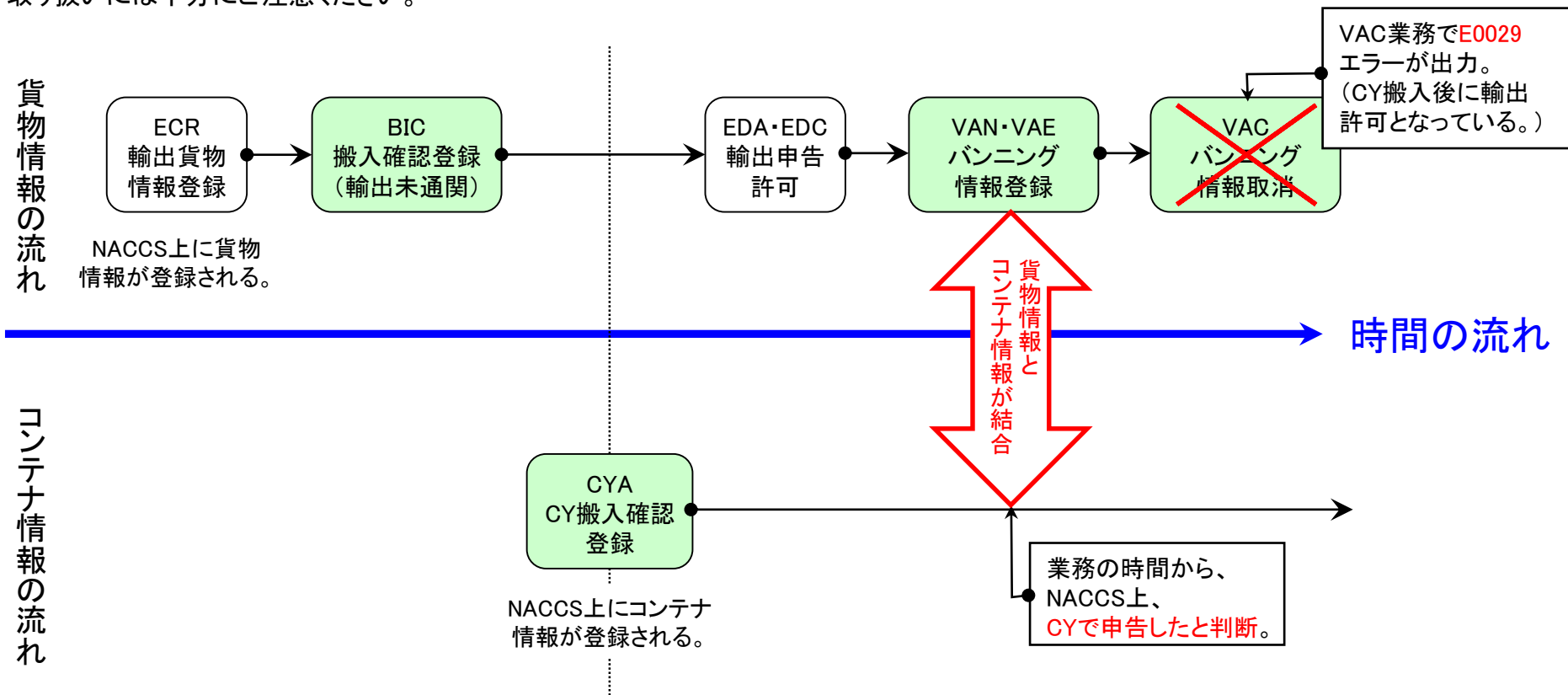
- : 必須項目
- △: 任意項目
- ×: 入力不可項目

・コンテナ番号を誤って入力した場合は本業務を使用してコンテナ番号を取り消し、正しいコンテナ番号で、再度VAN業務またはVAE業務をする必要があります

・既にCY搬入済であっても、CY輸出申告前、又は船積登録前であれば、本業務は可能です。  
 ただし、コンテナ番号単位及び輸出管理番号単位での「一括取消し」はできません。  
 またCY輸出申告後は、税関で申告撤回をする必要があります。

**本業務を行う時は、CYに必ず連絡した上で行うようにしてください。**

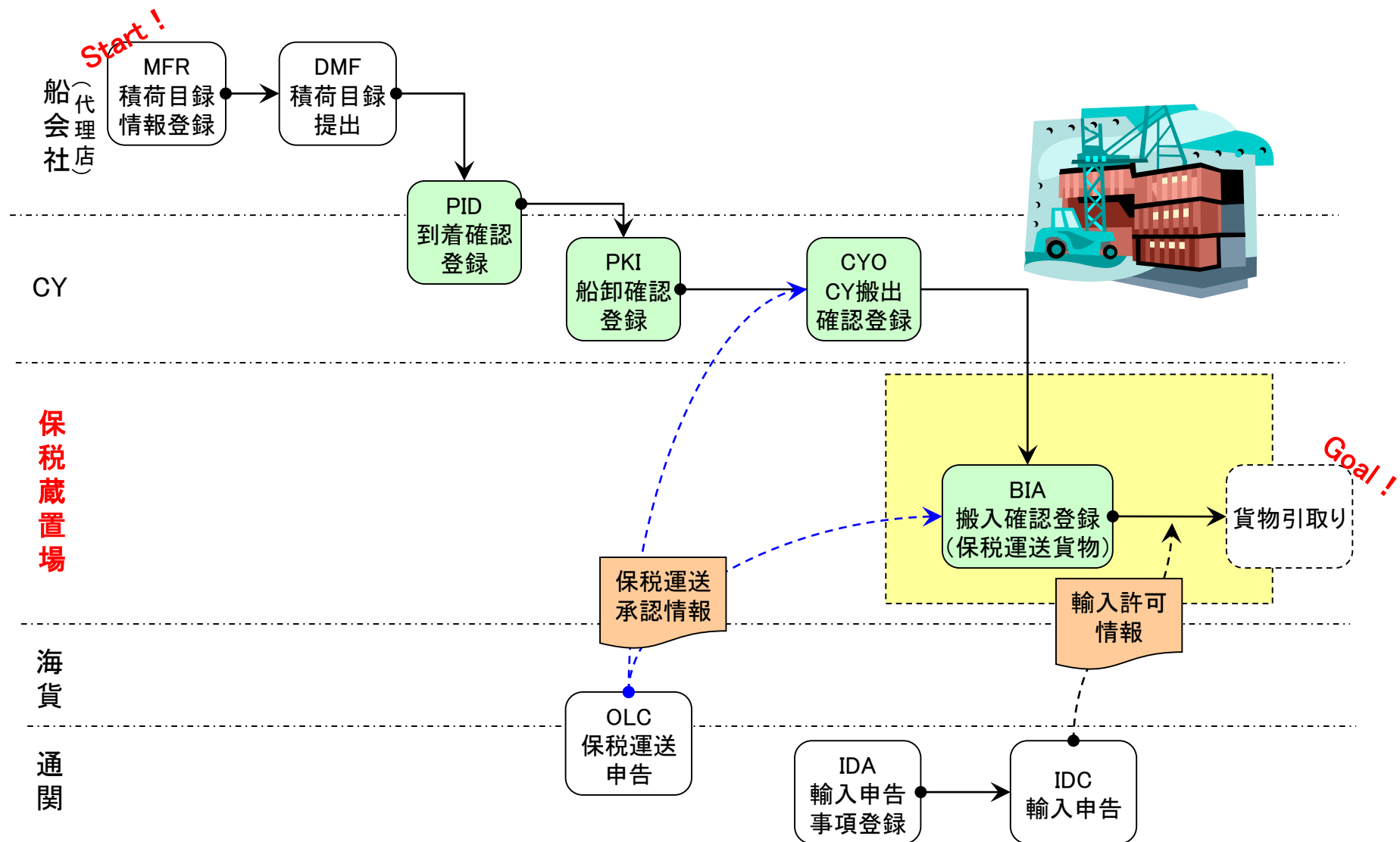
下記の流れでは、システム上、**CYで申告したと判断される**ため、コンテナ番号の入カミス等におけるVAC業務は出来ませんので、取り扱いには十分にご注意ください。



対処方法としては、「①輸出申告の撤回をしてCYO業務を行い、再度ECR業務からやり直す」、または「②誤ったコンテナのまま後続業務を行い、マニュアルで処理を行う」といった方法がありますが、いずれも税関の指示を受けてください。またシステム上は、輸出申告・許可前に通関蔵置場から搬出されて、CYに貨物が搬入されている、いわゆる「空通関」の状態ですので、税関から指導を受けることもあります。

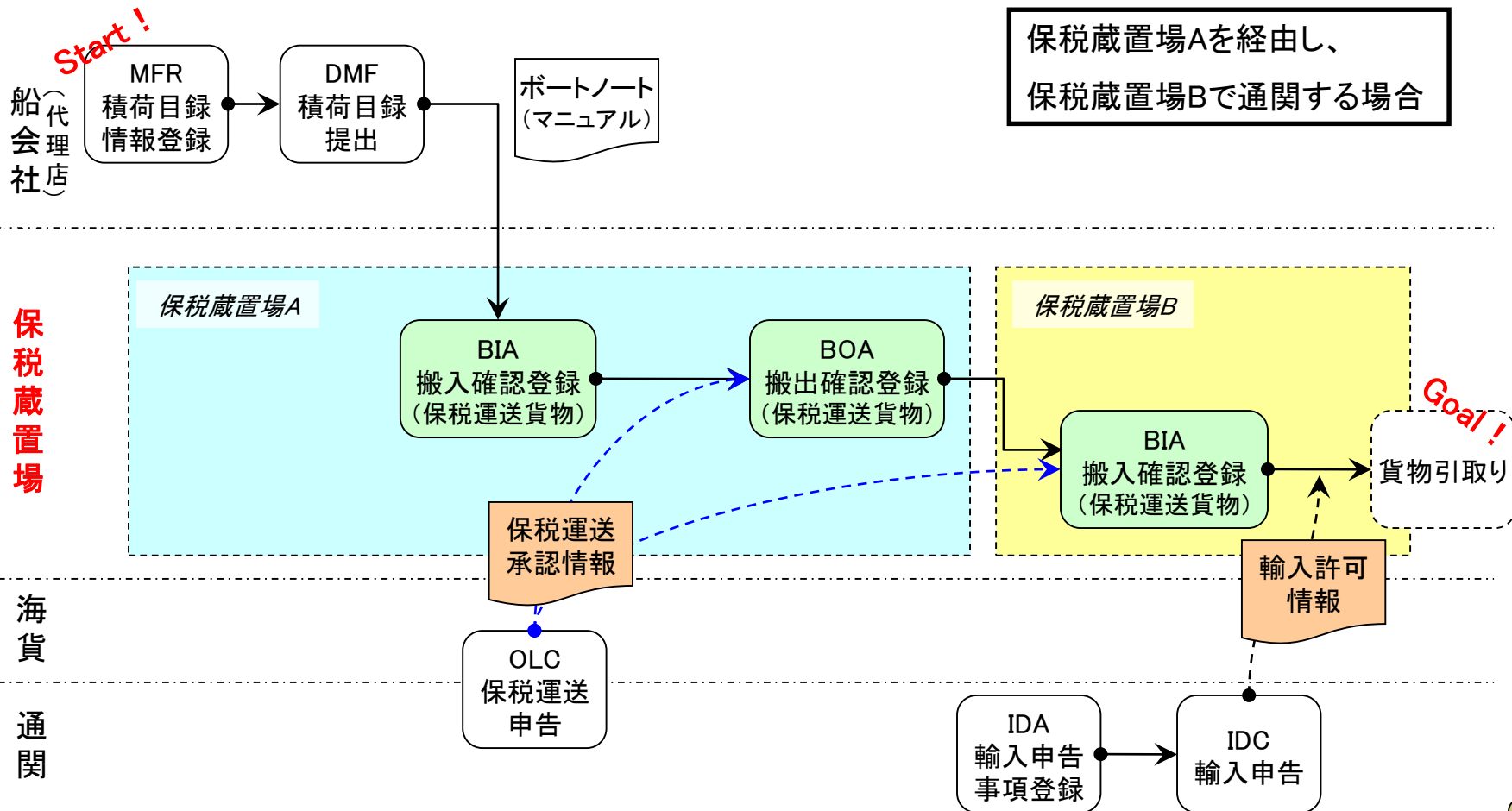
# 輸入貨物業務（保税蔵置場）

# 貨物情報を基本とした輸入貨物処理【コンテナ貨物の場合】

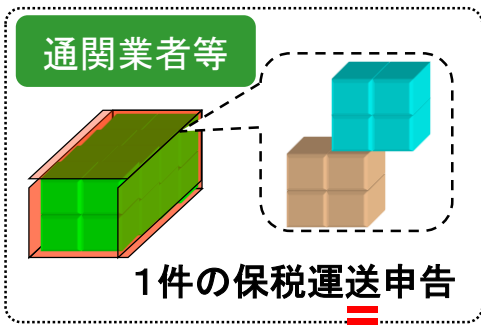


# 貨物情報を基本とした輸入貨物処理【在来貨物の場合】

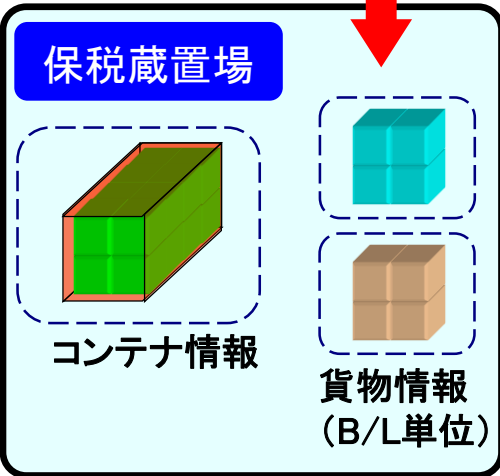
～ Sea-NACCSは、輸出入貨物に関わる関係者の**全員参加を前提にしたシステム**であり、貨物情報はその関係者が共有利用します。～



輸入通関する保税蔵置場に貨物を搬入する時は、保税蔵置場のNACCS参加・不参加にかかわらず、貨物の搬入(または到着)情報をシステム登録する必要があります。(※NACCS参加蔵置場はBIA(搬入確認登録)業務を行いません。またNACCS不参加蔵置場は、書類を税関窓口に持参し、税関によるSAT(保税運送到着確認)業務を依頼します。)



BIA



## BIA (搬入確認登録(保税運送貨物)) 入力画面

搬入日時\* 2012/02/17 - \_\_:\_\_ 搬入識別\* A ← 搬入蔵置場

1 番号 15000075850

到着個数 - 重量 - 容積 - 危険貨物

記号番号 通知識別

事故 1 2 3 4 5

記事

選択する「搬入識別」により、入力必須項目あるいは入力不可項目が異なります。

搬入識別が「C」、及び「D」の場合は必須入力

選択する「搬入識別」により、入力する番号が異なります。

搬入識別	
【一回に登録する件数や事故通知の有無などによって識別を使い分けます。】	
A	保税運送申告番号で登録するとき (一度に登録できるのは1申告)
B	コンテナ番号で登録するとき (一度に登録できるのは1コンテナ)
C	B/L番号で登録するとき (一度に登録できるのはB/L20件まで)
D	ポートノート搬入貨物または揚地詮議有りの貨物のとき (B/L番号を入力。一度に登録できるのは20件まで)
E	コンテナ検査後に運送指定され到着する貨物のとき (輸入申告番号を入力。一度に登録できるのは1件)

BIA業務で登録した情報を訂正するには、SAI11業務で貨物情報呼び出した上で、SAI業務「輸入貨物訂正」を行います。(注:一部SAI業務では訂正できない項目もあります。)  
なお、BIA業務は取り消すことができないので、取消しが必要な場合は税関にご相談ください。

・OLC業務にて保税運送申告された貨物を保税蔵置場に搬入する場合は、本業務を行います。  
・本業務によりコンテナ情報と貨物情報が切り離されます。(本業務は**デバンニングの搬入**です。)



## 【搬入確認登録(BIA)業務の入力パターン】

保税運送貨物で  
事故あり

パースからの  
保税運送貨物

	保税運送申告番号単位	コンテナ番号単位	B/L番号単位	ポートノート、揚地詮議有貨物	コンテナ検査
1 搬入年月日(システム日より過去1年)	○	○	○	○	○
2 搬入時刻	△	△	△	△	△
3 搬入識別	A	B	C	D	E
4 搬入確認蔵置場(入力者と異なる場合)	△	△	△	△	△
5 搬入確認する番号	○(保税運送申告番号)	○(コンテナ番号)	○(B/L番号)	○(B/L番号)	○(輸入申告番号)
6 到着個数、個数単位コード	×	×	○	○	×
7 重量、重量単位コード	×	×	×	○	×
8 容積、容積単位コード	×	×	×	○	×
9 危険貨物等コード	×	×	△	△	×
10 記号番号	×	×	△	△	×
11 事故税関通知識別コード、事故コード	×	×	△	△	×
12 記事	×	×	△	△	×

○: 必須項目 △: 任意項目 ×: 入力不可

### 入力例<保税運送申告番号単位「A」>

搬入日時\* 2011/01/21 - \_:\_: 搬入識別\* A 搬入蔵置場 [ ] /4

1 番号 15000057210

到着個数 [ ] - 重量 [ ] - 容積 [ ] - 危険貨物 [ ]

記号番号 [ ] 通知識別 [ ]

事故 1 [ ] 2 [ ] 3 [ ] 4 [ ]

記事 [ ]

### 入力例<B/L番号単位「C」>

搬入日時\* 2011/01/21 - \_:\_: 搬入識別\* C 搬入蔵置場 [ ] /4

1 番号 0TH0123456789

到着個数 101 - CT 重量 [ ] - 容積 [ ] - 危険貨物 [ ]

記号番号 N/M 通知識別 Z

事故 1 OVER 2 [ ] 3 [ ] 4 [ ]

記事 事故あり(個数1カートオーバー)

### 入力例<コンテナ検査「E」>

搬入日時\* 2011/01/21 - \_:\_: 搬入識別\* E 搬入蔵置場 [ ] /4

1 番号 11387934450

到着個数 [ ] - 重量 [ ] - 容積 [ ] - 危険貨物 [ ]

記号番号 [ ] 通知識別 [ ]

事故 1 [ ] 2 [ ] 3 [ ] 4 [ ]

記事 [ ]

### 入力例<コンテナ番号単位「B」>

搬入日時\* 2011/01/21 - \_:\_: 搬入識別\* B 搬入蔵置場 [ ] /4

1 番号 OLCUT987650

到着個数 [ ] - 重量 [ ] - 容積 [ ] - 危険貨物 [ ]

記号番号 [ ] 通知識別 [ ]

事故 1 [ ] 2 [ ] 3 [ ] 4 [ ]

記事 [ ]

### 入力例<ポートノート、揚地詮議有貨物「D」>

搬入日時\* 2011/01/21 - \_:\_: 搬入識別\* D 搬入蔵置場 [ ] /4

1 番号 0TH09876543210

到着個数 100 - CT 重量 1000.000 - KGM 容積 1000.000 - MTQ 危険貨物 [ ]

記号番号 N/M 通知識別 Z

事故 1 CYTRN 2 [ ] 3 [ ] 4 [ ]

記事 事故あり(外装破れ)

※揚地詮議有貨物  
貨物の数量が揚地(本邦輸入地)の保税蔵置場に  
搬入の際に確定する貨物のこと。

搬入確認時に事故(不足・破損等があった場合)のBIA業務

## BIA (搬入確認登録(保税運送貨物)) 入力画面

搬入日時\* 2012/02/17 - \_\_:\_\_ 搬入識別\* C 搬入蔵置場

1 番号 SAKA1234567890

到着個数 998 - BG 重量 容積 危険貨物

記号番号

通知識別 Z

事故 1 SHORT 2 WETTO 3 4 5

記事

「搬入識別」  
CまたはDの場合のみ  
事故通知が可能

「通知識別」  
税関への通知を要する  
事故か否かを入力する  
要する :Z  
要しない:M

「事故」  
OVERR(数量超過)  
DENTE(へこみ)  
BROKN(破損)など  
(NACCS掲示板の  
NACCS業務関連コード  
「事故種別コード」参照)

税関に事故通知

税関(保税部門)

税関で事故確認

保税蔵置場

不足!  
破損!

搬入



事故通知...

事故貨物確認情報



- ・事故通知が必要な場合、搬入識別にA,B,及びEは選択できません。(CまたはDのみ事故通知が可能)
- ・本業務で税関に事故通知(Z)をした場合、貨物情報は保留状態となり、税関でのDMC(事故確認登録)業務が行われるまで、後続業務(輸入申告・保税運送申告等)ができません。

## BOA(搬出確認登録(保税運送貨物)) 入力画面

処理区分*	9 (9: 搬出確認 1: 搬出取消し)	
搬出日時	2012/02/17 - __: __	
発送地		
貨物管理番号	1 SAKA1234567890	2
	3	4
	5	6
	7	8
	9	10
	11	12
	13	14
	15	16
	17	18
	19	20

「搬出日時」  
 全量搬出したことを確認してから登録すること。  
 搬出日が複数日にまたがった場合、最後に全量搬出された日を搬出日時とする。

「発送地」  
 発送地が入力者の管理する保税地域である場合のみ省略可能

「貨物管理番号」  
 B/L番号または輸出管理番号を入力  
 1回のBOA業務で20件まで登録可能

本業務の取消しは、  
 処理区分「1: 搬出取消し」にて行う。  
 貨物管理番号単位での取消しが可能です。  
 但し、到着地保税蔵置場で搬入がされている場合は、取消が出来なくなります。

コンテナ詰めされていないバラ貨物を保税運送申告後に搬出する場合は、本業務を行います。  
 (コンテナ詰めされている貨物をCYから搬出する場合は、CYO(CY搬出確認登録)業務になります。)

## SAI11(輸入貨物情報訂正呼出し)入力画面

B/L番号\* OTH01234567890

必ずSAI11業務にて情報呼び出します。

### 保税蔵置場

記号番号のタイプミス!



## SAI(輸入貨物情報訂正) 入力画面

共通部 繰返部

B/L番号\* OTH01234567890

訂正理由\* 6

保税運送承認番号 NACCS100-1

搬入日時 2012/02/17 - \_\_:\_\_

船舶 9999 - ZEIKAN MARU

船卸港 JPTYO 入港日\* 2012/02/17 船積港 CNSHA

最終仕向地 JPTYO - TOKYO - TOKYO

荷送人 \_\_\_\_\_

名称 NACCS CHINA CO.,LTD.

住所 999 SILVER STREET, SHANGHAI, CHINA

- 1:個数・重量・容積の入力ミスのため
- 2:個数・重量・容積のカウントミスのため
- 3:税関に事故を通知した(事故税関通知識別:Zを入力した)貨物に関する訂正のため
- 4:品名に誤りがあるため
- 5:貨物の記号番号に誤りがあるため
- 6:その他の理由のため

SAI画面で訂正箇所を上書きします。

記号番号 NACCS IN DIA  
MADE IN CHINA

個数\* 200 - BG 重量\* 2000.000 - KGM

ネット重量 - 容積 -

原産地

- ・本業務を登録した結果、帳票(SAS0760)の「訂正保留表示」欄が「P(訂正保留)」となった場合は、税関でのCAR(訂正保留解除)が行われるまで後続業務ができません。
- ・本業務で訂正できない項目があります。(次ページ参照)

### 輸入貨物情報訂正情報

B/L番号 OTH01234567890

訂正保留表示 P 訂正実施者 1AHB7 訂正理由 6

(訂正前)


保税運送承認番号 NACCS100-1

## ■ SAI業務では訂正できない項目があります。

### SAI業務では訂正できない項目例

- ・仮陸揚識別 / 仮陸揚事由コード / 仮陸揚期間 (税関のみ訂正が可能)
- ・船舶コード / 積載船名 / 船卸港コード (但し、システム外搬入確認により登録された場合は SAI業務により訂正が可能)

## ■ SAI業務を実施する際には、通関などの他利用者の作業が進んでいないか、注意が必要です。

 「**輸入申告事項登録(IDA)**」業務が既に行われている場合、SAI業務を行っても輸入申告情報の下記の項目は訂正されません。貨物情報と輸入申告情報の内容を一致させるため、別途通関業者が輸入申告情報の訂正も行う必要があります。

### 輸入申告情報の訂正も必要な項目

- ・船舶コード、積載船名、入港年月日、船卸港コード、船積港コード
- ・荷受人コード、荷受人名、荷受人住所、荷受人郵便番号、荷受人電話番号
- ・個数、個数単位コード、総重量、重量単位コード、記号番号

# 共通業務について

# 保税蔵置場での主な搬出入業務一覧

	業務区分	貨物の種類	業務コード	許可状況等	搬出入時のNACCSの貨物情報の有無	取消業務	備考欄
輸出搬出入業務	搬入	バラ貨物	BIC	輸出未許可貨物 (特定輸出申告済貨物等含む)又は未通関積戻貨物	NACCSに貨物情報有り	取消不可	搬入後の貨物情報の訂正業務: BIF
			BID	輸出許可貨物	NACCSに貨物情報無し		
			BIE		BIX		
	搬出	コンテナ貨物	BOC			BOC(処理区分: 取消)	
			VAN・VAE		NACCSに貨物情報有り	VAC	VAN・VAE後の訂正業務: VAD

	業務区分	貨物の種類	業務コード	許可状況等	搬出入時のNACCSの貨物情報の有無	取消業務	備考欄
輸入搬出入業務	搬入	バラ貨物	BIA	保税運送貨物等	NACCSに貨物情報有り	取消不可	搬入後の貨物情報の訂正業務: SAI
			BIB		NACCSに貨物情報無し	BIX	
	搬出		BOA		NACCSに貨物情報有り	BOA(処理区分: 取消)	

	登録業務	取消し業務		蔵置場での確認業務		対象貨物
		業務名	期間	業務名	期間	
内容点検	SHN	SHC	登録日含め 3日以内	CHI	登録日含め 3日以内 ※CHIの登録を 行わなくても後 続業務には影 響ありません。	輸出入貨物 (積戻し含む)
改装・仕分け	SHS					
仕合せ	CHU					
取扱許可申請	CHD		許可前			MHO
見本持出許可申請	MHA	MHC	許可前			



<p><b>SHN</b> 貨物取扱登録 (内容点検)</p>	<p>保税地域に蔵置されている貨物について、関税法第40条第1項に基づく「内容点検」「その他の手入れ」を行う場合に、本業務により必要事項を登録します。</p>
<p><b>SHS</b> 貨物取扱登録 (改装・仕分け)</p>	<p>保税地域に蔵置されている貨物について、関税法第40条第1項に基づく「改装」、「仕分け」を行う場合に、本業務により必要事項を登録します。</p>
<p><b>CHU</b> 貨物取扱登録 (仕合せ)</p>	<p>保税地域に蔵置されている輸出貨物(積戻貨物を含む)について、複数の輸出管理番号単位の貨物を1つの輸出管理番号単位の貨物に仕合せする場合は、本業務により必要事項を登録します。 これにより取扱場所へ貨物取扱情報が通知されます。 なお、本業務を行った場合は、以降の業務は仕合せした単位で行うこととなります。</p>
<p><b>CHJ</b> 貨物情報仕分</p>	<p>システム参加保税地域等に蔵置されているコンテナ詰輸入貨物について、B/L番号単位と異なる単位で輸入申告等を行うため、貨物情報を複数の情報に仕分けする場合は本業務により必要事項を登録します。 「通常情報仕分け」「先行到着分情報仕分け」「分散蔵置情報仕分け」の3種類の情報仕分けが可能です。 なお、本業務を行った場合は、以降の業務は仕分けた単位で行うこととなります。 また、情報仕分けをした旨を取り消す場合も本業務で行います。</p>

<b>SHC</b> 貨物取扱取消	貨物取扱登録(SHN・SHS・CHU)、貨物取扱許可申請(CHD)を取り消す場合は、本業務によりその旨を登録します。
<b>CHD</b> 貨物取扱登録 (許可申請)	保税蔵置場等に蔵置されている貨物について、関税法第40条第2項に基づく「見本の展示」、「簡単な加工」及び「その他これらに類する行為」を行う場合は、本業務により税関に対し許可申請を行います。 システムは申請を「簡易審査扱い」または「書類審査扱い」のいずれかに選定します。「簡易審査扱い」に選定された申請は即時に許可となり、「書類審査扱い」に選定された申請は、税関が行う「貨物取扱許可申請審査終了(CHE)」業務により許可となります。
<b>CHI</b> 貨物取扱結果通知	保税地域は貨物取扱登録(SHN・SHS・CHU)、貨物取扱許可申請(CHD)業務で登録された取扱いについて取扱いが終了した旨を通知します。 また、当該通知を取り消す場合も本業務で行います。 なお、本業務は貨物取扱登録または貨物取扱許可申請を行った利用者への通知が必要な場合のみ入力を行います。

取扱業務は、CHI業務を除き、保税管理者以外に通関・海貨・NVOCC業種でも実施可能です。

<b>MHA</b> 見本持出許可申請	<p>貨物情報が登録されている貨物を見本として一部持ち出す場合に申請する業務です。</p> <p>関税法基本通達32-3に規定する包括許可に係る申請はMHAの対象外であり、マニュアルによる申請を行います。(汎用申請「HYS」も可能)</p> <p>見本持出申請を行った場合、簡易審査扱い(区分1)の場合は即時に、また、書類審査扱い(区分2)の場合は、税関による見本持出審査終了(MHE)業務により、見本持出許可通知情報が配信されます。</p>
<b>MHC</b> 見本持出取消	<p>MHA業務を行った利用者が、税関の許可前にあらかじめ税関保税担当部門に申し出た後に行う業務です。</p> <p>許可後に取り消す場合は、「NACCS登録情報変更願」を税関へ提出し、税関が取消すこととなります。</p>
<b>MHO</b> 見本持出確認登録	<p>MHA業務にて許可となった見本を、保税地域等から一時持ち出した場合は、本業務にてその旨を登録します。</p> <p>MHA業務による持出期間終了日の7日後に見本持出情報が削除されるため、それ以降は、本業務が実施できなくなります。</p> <p>本業務は任意業務ですが、管理統計資料「貨物取扱等一覽データ」の一時持出年月日に出力する必要がある場合は、本業務が必要となります。</p> <p>本業務の取消しは、本業務で行います。</p>

# 各種照会業務

## ■ ICG業務 貨物情報照会

- 個数、重量、品名等の貨物情報や通関状況及び保税地域等への搬出入状況を貨物管理番号(B/L番号)単位に照会することができます。

貨物管理番号\* 0000409351

指定情報

指定情報欄にコードを入力することにより、詳細情報を照会可能。  
※入力がない場合、概要(SMR)情報が照会される。

(指定情報)	SMR：概要情報	PRM：保税運送申告等税関手続情報
	TTL：全体情報	VAN：コンテナ貨物情報
	CON：貨物状況情報	DPR：船積情報
	SHP：荷送受人情報	RSH：積戻し貨物到着時情報
	ENT：搬入予定情報	ARR：船卸情報
	BND, XXXXX ：入出庫管理情報	DMG：事故情報
	TRN：搬出入情報	HAN：搬入時申告情報
	DIT：輸出入申告関連情報	FTM：フリータイム情報
	OLT：保税運送関連情報	RPK：船卸状況情報
	DCL：輸出入許可情報	ACT：請求情報

## ■ ICG 貨物情報照会 結果 (TTL: 全体情報上段)

(全体情報)

貨物管理番号  指定情報   
 次貨物管理番号  次指定情報

最新更新日時	最新更新業務	最新更新利用者	最新更新日時	最新更新業務	最新更新利用者
2012/02/20 - 18:38:58	CCL	1ACB7	2012/02/20 - 18:31:21	VAN	1AHB7
2012/02/20 - 18:37:31	CLR	1ACB7	2012/02/20 - 18:29:34	EDC	1ATB0
2012/02/20 - 18:34:23	CYA	1ACB7	2012/02/20 - 18:25:44	BIC	1AHB7
2012/02/20 - 18:34:01	CYA	1ACB7	2012/02/20 - 18:24:39	ECR	
2012/02/20 - 18:31:59	VAN	1AHB7	/ / - : :		

貨物状況  荷渡可能表示  貨物種別

積戻し貨物表示  積戻し輸出管理番号   
 混載表示  混載親日/L番号   
 仕分仕合表示  仕分親貨物管理番号   
 荷受形態  荷渡形態  運送形態  搬入種別  通関種別  事故確認表示

品名   
 記号番号

総個数  総重量  ネット重量   
 原産地  最終仕向地

貨物情報登録者  船会社  船舶代理店  通関業   
 危険貨物  ブッキング番号  社内整理番号   
 船舶  -  航海番号

入港日  船卸港  船卸場所   
 出港予定日  船積港  船積場所

照会貨物にかかる処理状況が時系列で表示されます。

- ・最新更新業務: 業務コードを表示
- ・最新更新利用者: 利用者コードを表示

貨物種別を表すコードが表示されます。

22=輸出貨物(積戻し貨物を含む)  
23=輸入貨物 28=仮陸揚貨物

貨物状況を表すコードが表示されます。

BND: 未許可蔵置中  
EXP: 輸出許可済(積戻し許可済を含む)  
IMP: 輸入許可済(BP・蔵入承認含む)  
TRN: 運送中  
CCL: 船積み確認済み  
END: 削除表示設定(システム外搬出、仕分仕合済、デバンニング済等)  
SSP: 訂正保留中  
MAN: 貨物手作業移行 など

通関種別を表すコードが表示されます。

N=一般通関 T=システム外許可済  
H=本船扱い F=ふ中扱い  
S=特定輸出申告、特定委託輸出申告  
または特定製造貨物輸出申告

## ■ ICG 貨物情報照会 結果(TTL:全体情報下段)

荷送人 P005A555-0000 - NACCS SYOUJI CO.,LTD.

荷受人 - - NACCS U.S.A. CO.,LTD.

着荷通知先名 (1)

着荷通知先名 (2)

蔵置場所	搬入日	蔵置 個数	発送地	搬出日	搬入先	搬出区分	搬入日
-	/ /		1HB07	2012/02/20	1CB07	LE	2012/02/20
	/ /		1HB07	2012/02/20	1CB07	LE	2012/02/20
	/ /			/ /			/ /
	/ /			/ /			/ /
	/ /			/ /			/ /

申告種別	申告番号	申告日	審査終了日	許可日
LE	13676245210	2012/02/20	2012/02/20	2012/02/20

税関手続種別	手続者	許可承認番号	申告申請日	許可承認日	到着
最新			/ /	/ /	
その前			/ /	/ /	

フリータイム日付 /

コンテナ数 2

コンテナ番号 状況 フリータイム

TTSU9876540	G	/	GMDU9876540	G	/						
-------------	---	---	-------------	---	---	--	--	--	--	--	--

輸出入申告が行われている場合に出力  
※ 照会者が照会可能である場合のみ。

コンテナ貨物の場合にコンテナの状況を表すコードが表示されます。

A=船卸前	E=バンニング済み
B=船卸済み	F=CY搬入済み
C=CY搬出済み	G=船積み処理済み
D=デバンニング済み	

## ■ ICN業務 コンテナ情報照会

- コンテナ単位にコンテナ情報を照会します。

コンテナ番号\* TTSU9876540



## ■ ICN コンテナ情報照会 結果(上段)

コンテナ番号 TTSU9876540

次コンテナ番号\*

最新更新日時 2012/02/20 - 18:38 最新更新業務 CCL 最新更新利用者 1ACB7

コンテナ状況 1 輸出入識別 22 船会社 SAKA コンテナオペレーション会社

空/実入 5 サイズ 42 タイプ GP 貨物数 1

荷渡形態 所有形態 バンニング形態 マニュアル輸出許可済識別

条約適用識別 1 卸コンテナ自動抽出対象外 搬出可能識別

船舶コード 9999 - NACCS MARU 航海番号 100 船卸港 -

積出港 JPTYO 入港年月日 / / 船卸予定日時 / - :

船卸年月日 / / 船積年月日 2012/02/20

蔵置場所 - - 搬入年月日 / / 搬入確認者

発送地 1HB07 - ZOUCHI-B07 搬出年月日 2012/02/20 搬出確認者 1ACB7

コンテナの輸出入識別を出力  
22:輸出 23:輸入 28:仮陸揚

空/実入コンテナ識別を出力  
4:空 5:実入

コンテナの現在の状態を、コードで表示されます。

1:削除表示	5:積荷目録提出後、船卸前
2:差止中	6:蔵置中
3:容器通関済(コンテナリスト提出)	7:運送中
4:積荷目録提出前	8:バンニング経由中



## ■ ICN コンテナ情報照会 結果(下段)

搬入先	1CB07 - CY-B07		
経由地			
保税運送登録者	包括 保税運送承認番号		
手続種別	LCN	提出番号等	15000077620
		手続年月日	2012/02/20
		登録者	1ACB7
		コンテナ管理者	
バンニング	場所	地域名	年月日
	情報登録者		
1	1HB07	ZOUCHI-B07	2012/02/20
2			/
3			/
4			/
5			/
シール番号	1	100	2
	3		4
	5		6
ブッキング番号	BOOKING1		
事故届出者			
事故	1	2	3
	4	5	事故確認状況表示
...    1 /10    ...			
01	貨物管理番号		
	品名		
	個数	-	許可・承認状況

当該コンテナに対して税関手続がされている場合に、その税関手続種別コードを出力  
 DCN: 卸コンテナリスト提出  
 LCN: 積コンテナリスト提出  
 MCI: コンテナ輸入許可  
 OLC: コンテナ容器保税運送承認

当該コンテナに紐づいているB/L番号、または貨物管理番号を出力

## ■ 主な情報照会業務

### ■ 貨物在庫状況照会 (IWS)

- 保税地域単位に蔵置中の貨物またはコンテナの在庫状況を照会します。

### ■ 保税運送照会 (IOL)

- 保税運送申告、包括保税運送承認に係る個別運送または特定保税運送の情報を照会します。

### ■ 輸入貨物搬入予定照会 (IBI)

- 保税運送承認済、包括保税運送承認に係る個別運送情報登録済または特定保税運送登録済の貨物の情報を、到着地単位に貨物管理番号の一覧として照会します。

### ■ 輸出貨物搬入予定照会 (IEC)

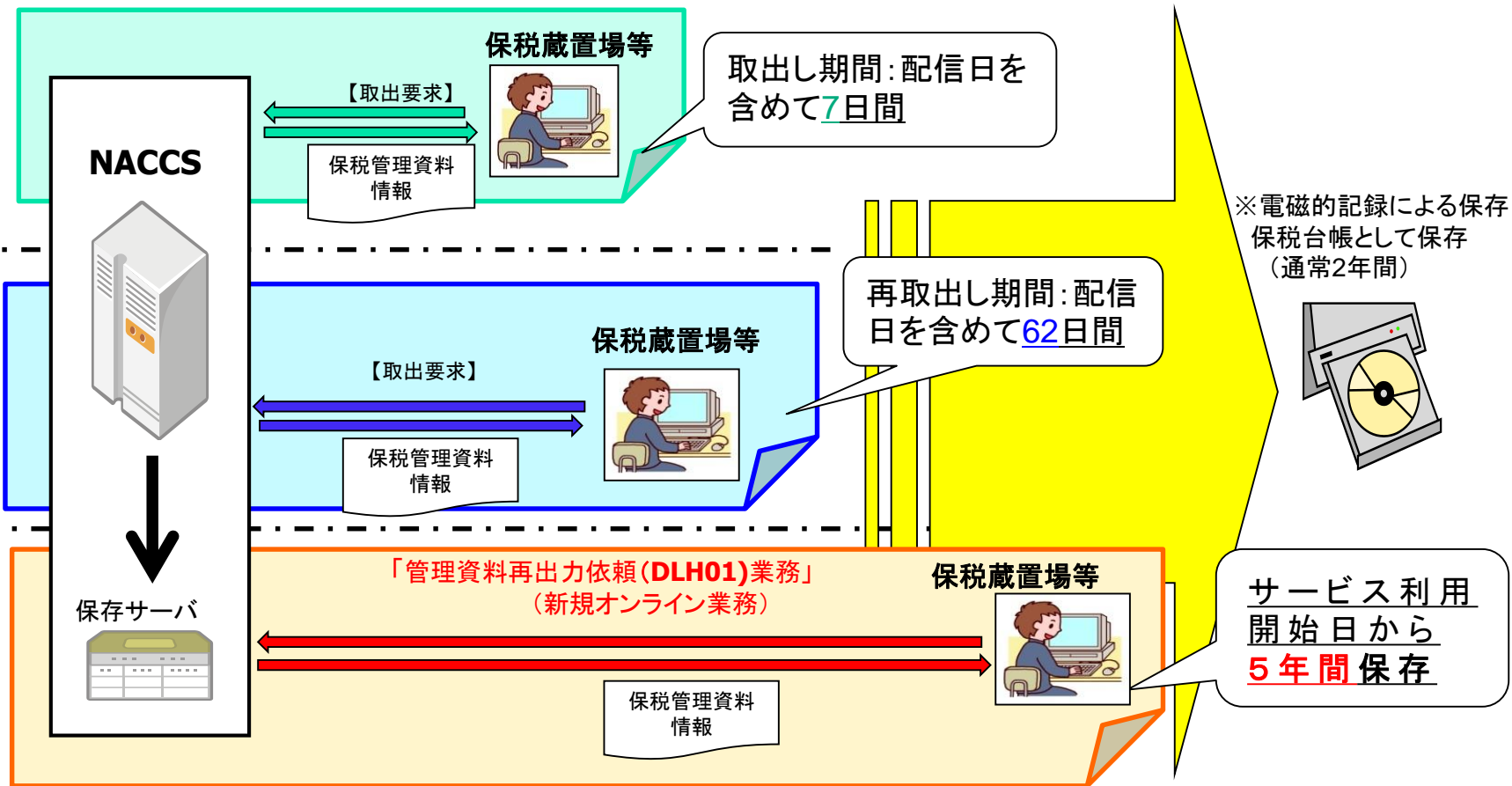
- 「輸出貨物情報登録」業務が行われた貨物のうち、保税地域に搬入予定の貨物の情報を、保税地域単位かつ搬入予定日単位に輸出管理番号の一覧として照会します。

# 保税管理資料

通常時

再取出し

保存サービス利用



## ☆保税台帳として利用可能な管理資料情報

- ① G01(81) 輸入貨物搬出入データ(週報/月曜配信)SBS1400
- ② G02(82) 輸出貨物搬出入データ(週報/火曜配信)SBT0200
- ③ G05(85) 貨物取扱等一覧データ(週報/火曜配信)SBS1700

※電磁的記録による保存を行う場合には、事前に管轄税関への届け出が必要となります。

# 第6次NACCSに関するお知らせ

共通

航空  
海上

第10回  
WG

基本  
IV-3

海上システムにおける航空貨物の取扱いの廃止（概要）

- ・ 海上機能で航空貨物を取扱う機能を廃止し、海上貨物は海上機能で、航空貨物は航空機能で処理することを原則とする。（海上／航空の両機能間で情報連携機能が必要なイレギュラーケースについては、当該機能を提供する。）

## 詳細仕様検討結果

- ・ NACCSは、上流～下流まで一連の業務を連携して処理することが大きなメリットであるが、航空貨物を海上機能で処理することを可能としているため、貨物情報の分断が生じる等、本来のメリットが損なわれる状況となっている。
- ・ 現在、航空機能を導入していない空港地区において航空機能を導入することによって、電子化の進展による事務の効率化やペーパーレス化を図ることができる。



海上機能で航空貨物を取扱う機能を廃止し、海上貨物は海上機能で、航空貨物は航空機能で処理することとする。

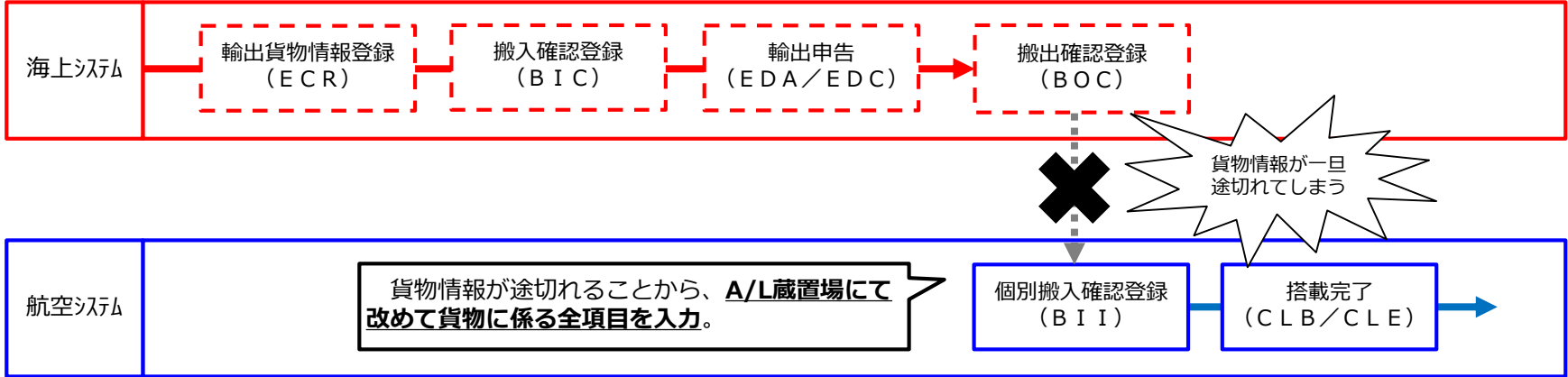
# 見直し対象となる現行の運用(航空輸出業務)

## ◆ 見直し対象となる現行の運用



### 現行フロー(輸出)

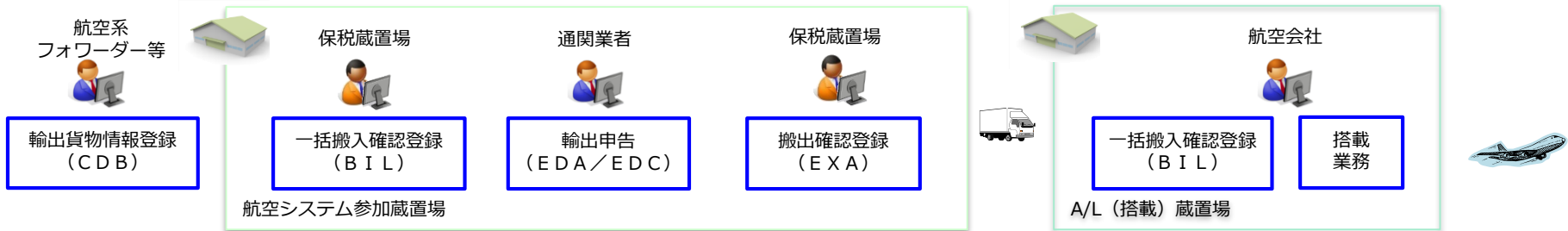
- 航空機に搭載して輸出する貨物を海上システムで輸出申告している場合



### 次期フロー(輸出)

#### ◆ 次期 航空貨物は航空システムで輸出申告する

海上システムで航空貨物を取扱う機能が廃止されることから、航空貨物をシステムで輸出申告を行うためには**保税蔵置場、通関業者共に航空システムに参加し、業務を実施する。**



## ◆ 航空輸出業務を行う上での注意点

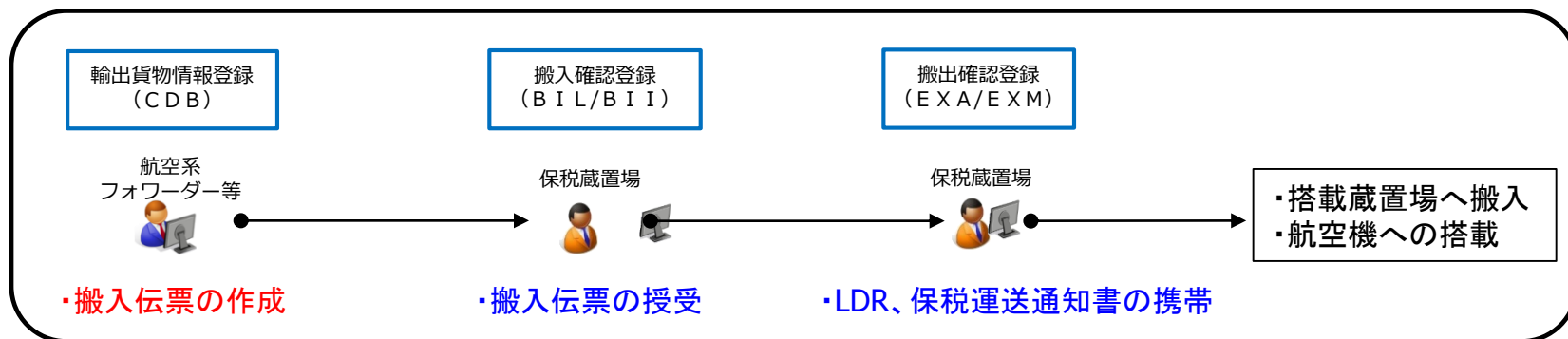
新たに航空貨物をAir-NACCSで取り扱う場合、以下の項目について事前に関係者間（税関、通関業者、保税業者、航空系フォワーダー等）で調整を行ってください。**輸出申告を行う通関業者もAir-NACCSを導入している必要があります。**

### 1. 税関への事前相談

➔Air-NACCS導入に関する手続きが必要となる場合がございます。あらかじめ税関へご相談ください。

### 2. 航空系フォワーダーとの事前調整（搬入伝票作成、LDR・保税運送通知書の携帯）

➔搬入伝票の作成（NACCS業務：CDB（輸出貨物情報登録））を航空系フォワーダーが行う必要があります。また、貨物の搬出時にはLDRや保税運送通知書を携帯・提示する必要がありますので事前に関係者間でご調整をお願いします。



### 3. 許可後訂正可能者の事前調整とNACCSへのシステム登録

➔当初申告者以外の通関業者が許可後訂正を行う場合、事前に「許可後訂正可能利用者」登録を行う必要があります。システム設定まで所定の日数を要しますので、事前にご調整をお願いします。



# 見直し対象となる現行の運用(航空輸入業務)

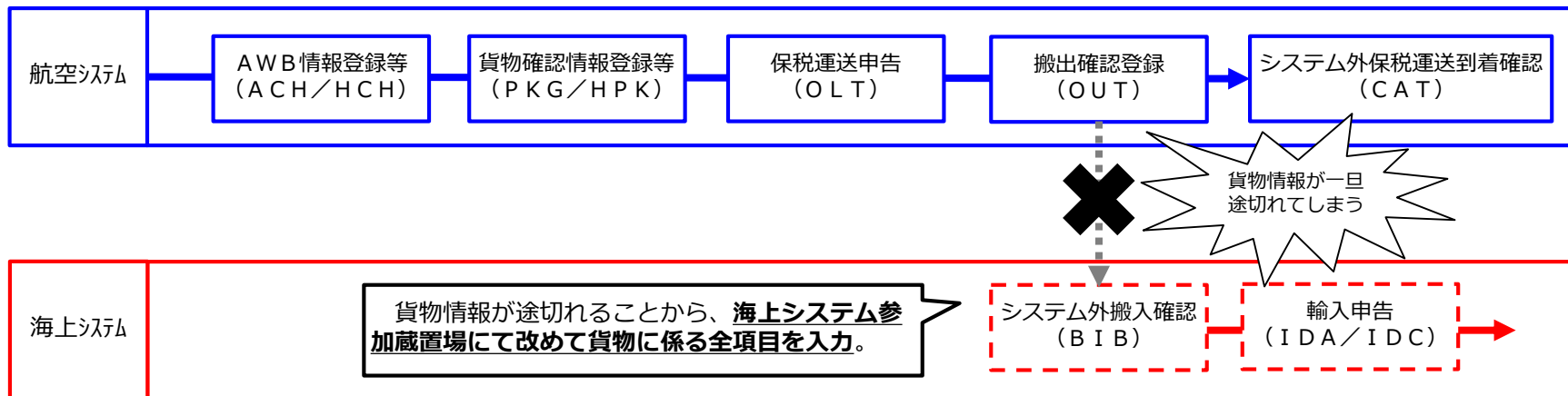
## ◆ 見直し対象となる現行の運用

航空システム

海上システム

### 現行フロー(輸入)

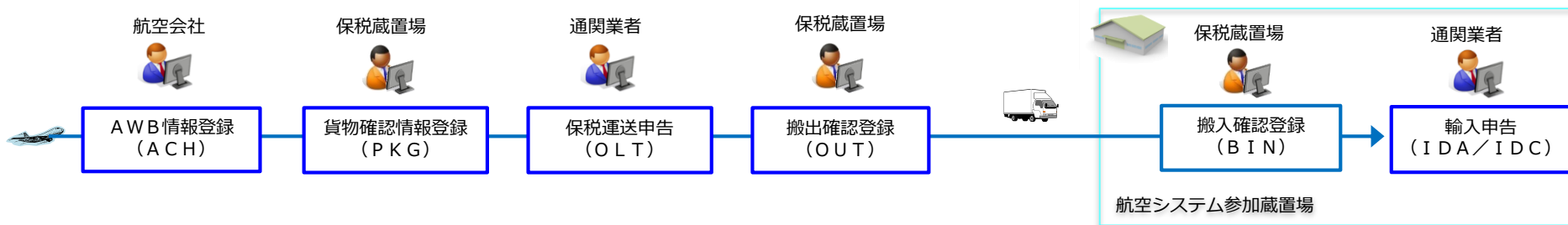
- 航空機で到着した貨物を海上システムで輸入申告している場合



### 次期フロー(輸入)

- ◆ 次期 航空貨物は航空システムで輸入申告する(システム内空港)

海上システムで航空貨物を取扱う機能が廃止されることから、航空貨物をシステムで輸入申告を行うためには**保税蔵置場、通関業者共に航空システムに参加し、業務を実施する。**



◆ 主だった変更点（「次期NACCS詳細仕様等説明会資料」より一部抜粋）

第6次NACCSでは以下の項目についても仕様変更を予定しております。

項目（業務）	概要
BL番号入力桁数の見直し	(現)20桁→(次期)35桁への変更
1BLあたりのコンテナ件数の増加	(現)100件→(次期)200件への変更
仕分け貨物の枝番付与体系の変更	<p>(現)末尾A~Z,AA~ZZ→(次期)A~V,AA~VV</p> <p>・BL:ABC100を枝番A,Bに仕分けした後、枝番Aを2つに再仕分けするケース                      [変更前] ABC100<u>C</u>、ABC100<u>D</u></p> <p>[変更後] ABC100<u>AA</u>、ABC100<u>AB</u>                      →仕分け親の取り扱い枝番を引き継ぐ</p>
保税運送申告(OLC)の業務追加	事項登録業務(OLA)等で事項登録が可能となる
ACL(船積確認事項登録)業務の変更	<p>現在のACL01,ACL02業務を廃止し、ACL03,ACL04</p> <p>業務の名称をそれぞれACL01,ACL02へ変更</p>

★ 上記内容は変更点の一部となります。詳細につきましてはNACCS掲示板「第6次NACCS情報」掲載資料をご確認ください。

# NACCS揭示板の活用

## ◆ NACCS掲示板の活用

NACCS掲示板ではNACCSシステムに関するお知らせをはじめ、よくある問い合わせや業務関連資料、講習会資料、第6次NACCSに関する情報など幅広く情報提供を行っております。



## ■ 業務別クイックメニューの提供 (2016/9/5~)

⇒業務分野ごとに「業務仕様書」「よくある問い合わせ」「講習会資料」を一つのページに集約したコンテンツの提供を開始致しました。

## ■ よくある問い合わせ

⇒NACCSセンターによくお問い合わせ頂く質問や、エラーコードに対する解決策、詳しい業務フローを掲載しています。

## ■ 第6次NACCS情報の提供

⇒平成29年10月に更改を予定している「第6次NACCS」に関する情報をNACCS掲示板で提供しています。

## NACCS揭示板の活用

**NACCS 揭示板**

よくある問合せ

よくある問合せ

業務別クイックメニュー

事務処理要領

電算関係税関業務事務処理要領

**<業務別クイックメニューとは>**

業務分野ごとに「業務仕様書」「FAQ(よくある問合せ)」「業務講習会資料」を一つのページに集約し、また業務コード集や「電算関係税関業務事務処理要領」等、お客様が日々の業務で使う情報へのリンクを同ページ内に設定しました。航空業務輸入、海上業務輸入のページには、ヘルプデスクへのお問い合わせの多い厚岸地譜別コード等の情報も収めました。是非、日々の業務でご活用ください。

ご覧になりたい業務を選んでください。対象業務

※素早く必要とする資料に到達できるように「業務別クイックメニュー」ボタンを新設。

- 航空業務輸出
- 航空業務輸入
- 海上業務輸出
- 海上業務輸入
- 入出港 関連

税関関係税関業務事務処理要領

税関業務関連

共通編

共通手続

航空編

入出港関係手続

貨物関係手続

通関関係手続

機用品関係手続

海上編

入出港関係手続

貨物関係手続

第1章 貨物積卸等関係手続

第2章 貨物管理関係手続

第3章 運送関係手続

通関関係手続

新旧対照表

税関手続関連

税関手続関連(海上編) 貨物関係手続

目次

第2章 貨物管理関係手続

第1節 混載貨物関係手続

- 混載子B/L情報の登録
  - 登録の時期
  - 登録の方法
- 混載子B/L情報の訂正
  - 訂正の時期
  - 訂正の方法
- 混載子B/L情報の削除
  - 削除の時期
  - 削除の方法
- 混載親B/L情報と混載子B/L情報との関連付け
  - 登録の時期
  - 取消しの時期
  - 登録又は取消しの方法
- 出力情報

第2節 輸出貨物情報登録手続

- 輸出貨物情報の登録、訂正又は削除
  - 登録、訂正又は削除の方法
  - 出力情報
- 積戻し貨物情報の登録又は削除
  - 登録又は削除の方法
  - 出力情報

## NACCS揭示板「業務別クイックメニュー」の新設

**輸出業務**

輸出業務フローから各情報を検索

一般的な輸出申告フロー  
(保税蔵置場で申告する場合)

① 貨物情報作成    ② 輸出許可    ③ コンテナ情報作成    ④ 貨物情報・コンテナ情報再録

ECR   BIC   EDA   EDC   VAN   CYA   CLR   CCL

入力者: 通関業者    入力者: 蔵置場    入力者: 通関業者    入力者: 通関業者    入力者: 蔵置場    入力者: CY    入力者: 船会社・船務代理店等

**業務フロー詳細版**

業務コード	ECR	BIC	EDA	EDC	VAN	CYA	CLR	CCL	ICG
業務名	輸出貨物情報登録	船積登録	輸出申告事項登録	輸出申告事項登録	船積情報登録	CY搬入確認登録	船舶情報登録	船積確認登録	貨物情報照会
<b>輸出通関</b>	○		○						
輸出保税		○			○				
CY・船舶代理店							○	○	
輸出関連									○
仕様書	<b>仕様書</b>	仕様書	仕様書	仕様書	仕様書	仕様書	仕様書	仕様書	仕様書
関連FAQ	<b>関連FAQ</b>	関連FAQ	関連FAQ	関連FAQ	関連FAQ	関連FAQ	関連FAQ	関連FAQ	関連FAQ

業務コード集    海上業務エラーメッセージ集

※税関業務事務処理要領については、以下をご確認ください  
**電算関係税関業務事務処理要領**

税関手続きについては、「電算関係税関業務事務処理要領を参照(リンク設定)」

**NACCS業務講習会資料【輸出通関】**

輸出・港湾関連情報処理センター株式会社  
平成26年04月更新

①講習会資料  
②業務仕様書、③FAQをクイック検索できるように資料を配置。

○のついた業務コードに関連する講習会資料を掲載。

**2003 ECR 輸出貨物情報登録**

業務項目	2003
業務コード	ECR
業務名	輸出貨物情報登録
業務概要	S/Iに基づき、輸出しようとする貨物及び未通関積戻し貨物の貨物情報を登録し、輸出管理番号をシステムで貼付する。
入力項目	概要    処理フロー    入力項目    入力画面

**よくある問合せ**

航空    ECR

海上

共通

関係省庁

利用契約

リアルタイム口座

専用口座

よくあるお問合せ事例、参考事例等を掲載

**海上業務エラーメッセージ集**

**業務コード集**

業務コード	説明	発生頻度	対応
1	船積登録エラー	発生頻度	対応
2	NACCS業務コードエラー	発生頻度	対応
3	NACCS業務コードエラー	発生頻度	対応
4	NACCS業務コードエラー	発生頻度	対応
5	NACCS業務コードエラー	発生頻度	対応
6	SPC(船積情報)エラー	発生頻度	対応
7	インポート業務コードエラー	発生頻度	対応
8	船積登録エラー	発生頻度	対応
9	船積登録エラー	発生頻度	対応
10	船積登録エラー	発生頻度	対応
11	船積登録エラー	発生頻度	対応
12	船積登録エラー	発生頻度	対応
13	船積登録エラー	発生頻度	対応

「業務別クイックメニュー」の新設で、NACCS揭示板がより使いやすくなりました。

## NACCS掲示板 6次NACCSに関する情報

**NACCS 掲示板**

※素早く必要とする資料に到達できるように「業務別クイックメニュー」ボタンを新設。

第6次NACCS情報

航空運送貨物  
海上運送貨物

ピックアップメニュー

- 業務コード集
- パッケージソフト デジタル証明書
- NACCS専用口座 廃止関係資料
- netNACCS端末 (パソコン) 入替方法
- ACL
- CY搬出入関連業務 (輸出空コンテナ ピックアップオーダー等)
- リアルタイム口座振替方式 (ダイレクト方式) 等申込み
- 業務別クイックメニュー

第6次NACCS情報

### 第6次NACCS情報

ピックアップメニュー

- 第6次NACCS情報TOP
- 説明会情報
- 各種資料
- 第6次NACCS接続試験情報

- 平成29年10月 第6次NACCS更改に関する情報を提供するページです。
- ◆第6次NACCSに関するお知らせ
- 第6次NACCS業務仕様書の一部更新について (2016.9.13)
  - 第6次NACCS業務仕様書の一部更新について (2016.9.8)
  - 第6次NACCS業務仕様書の一部更新について (2016.9.2)
  - 第6次NACCS業務仕様書の一部更新について (2016.8.31)
  - 第6次NACCS業務仕様書の一部更新について (2016.8.29)
  - 第6次NACCS業務仕様書の一部更新について (2016.8.19)
  - 第6次NACCS業務仕様書の一部更新について (2016.8.19)
  - 第6次NACCS接続試験情報ページを作成しました (2016.8.19) ※対象：自社システム利用者
  - 第6次NACCS業務仕様書の一部更新について (2016.8.9)
  - 第6次NACCS業務仕様書の一部更新について (2016.8.3)
  - 第6次NACCS接続試験説明会の開催について (2016.7.22) ※対象：自社システム利用者
  - 第6次NACCS業務仕様書の一部更新について (2016.7.4)
  - 第6次NACCS業務仕様書の一部更新について (2016.6.27)
  - 第6次NACCS業務仕様書の一部更新について (2016.6.20)
  - 第6次NACCS業務仕様書の一部更新について (2016.6.10)
  - 第6次NACCS業務仕様書の一部更新について (2016.6.3)
  - 第6次NACCS業務仕様書の一部更新について (2016.5.26)
  - 第6次NACCS業務仕様書の一部更新について (2016.5.19)
  - 第6次NACCS詳細仕様等説明会 (平成28年4月~6月) について (2016.3.17)

- ・説明会情報
- ・各種資料
- ・業務仕様書 (等)

ピックアップメニューをクリックすることで第6次NACCSに関する様々な情報を得ることが出来ます。

＜本資料に関する問い合わせ先＞

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社  
ソリューション事業推進部 関西事務所  
電話 06-6446-3812  
E-mail [westjapan@naccs.jp](mailto:westjapan@naccs.jp)